ふるさと学習活動が広げる地域づくりの多様な展開

～地元学は地域を変える～

NPO法人里の自然文化共育研究所・山形大学大学連携推進室

Institute of Collaborative Education for Sustainable Rural Communities, NPO

出川 真也

Shinya Degawa

図１:里地里山構成の相関関係

モデルとして～角川里の自然環境学校の事例～

地元の元気を作り出す地域再発見に向けて

- 地元住民は「何もない村」と言う。
  ヨソモンが地元から学ぶプロセスを通じて、地元住民が自分たちのことを再発見する。
- 外部者によって作られたイメージや、切り取られたテーマではなく、その地域・地元を地元のニーズも配慮しながら丸ごと見ていくということ。まずは地域住民の「暮らし」から学ぶということがポイント。
- すでに農山漁村の住民は自分たちで学び、自分で計画を作り、実践していく能力がある（それを邪魔しない。引き出す、育てる）。
- 村人が関心を持って集まる動機付けって何だろう？　楽しみ、遊び、交流、お酒！

地元学（地域の環境文化調査）

～まずは地域の「あるもの探し」からはじめよう～

子どもから大人まで地域住民とヨソモン参加で実施

地元学（地域の環境文化調査）
～聞いて、見て、やってみて、調べました～

子どもも大人もじいちゃん、ばあちゃんも楽しくなる

地元学で発見された水辺の生き物達

地元学で再発見された郷土料理の数々

美味しいものがたくさんある！

～山菜料理のレシピが１００種類以上～

←冬に備えて瓶詰めなどにして保存。

美味しいお蕎麦もあります。

角川に長期間訪れた人は、大きくなって帰っていく？

地元学（地域の環境文化調査）

皆で発表会。調べたものを地図にまとめて今後の活動を話し合う。
集落の将来の夢を語り合いました。

子供から大人、じいちゃんばあちゃんまでみんなで語り合いました。

地元学の成果物

- 地域マップ
- 地域資源カード
- 地域の歳時記

以上からこれからの地域づくりを考える。

互助の精神で　角川をつくる

人が元気
健康・長生き

集まる・楽しむ
太鼓。お茶

角川
サクラマス
ヤマメなど

手伝いあい

ものづくり、
加工所

楽しむ　　遊びを決めてから仕事する
ものづくりを楽しむ／飲んだり、食べたり、
おしゃべりしたりして楽しむ

生活博物館・角川

角川は毎日が生活文化祭

アトピーが
ない

雪に生きる力

山菜が豊か

通学合宿
教育がいい

食べ物が
うまい

祭り・行事

仕事
山、畑、田んぼ
など

遊び・楽しむ
川や山での
魚釣り、泳ぎ、
山歩き、山菜とり
など

お手伝いツアー
ワーキング・ホリデー

参加・体験

見る・眺める
聞く

地域に根ざした手作り地域産品

角川里の自然環境学校の設立へ

最上郡戸沢村角川地区は

- **豊かな山と川に囲まれた日本の原風景を残す農山村**
- **里の環境に根ざし貴重な自然や文化が息づく農山村**

課題；地域の財産が受けつながれないまま廃れようとしている

↓

角川里の自然環境学校の設立

- 地域住民が「里の先生」
  地域文化（知恵や技術）を担う住民が活動の中心
- 地域の自然や文化を再発見
  農山村の未来に向けて子供達に教え伝える取り組み
- 住民主体の新たな地域作りを行う地域運営学校

組織構成

角川里の自然環境学校は、
角川14集落の「里の先生」を中核に、6学校と4部局で構成。

- 山の学校
- 川の学校
- 食の教室
- 農の学校
- もの作り塾
- 民話・昔遊び塾
- 研究部（コミュニティ活動・環境保全/地域資源研究部）
- 交流部（里親委員会、ヨソモン交流会館）
- 探検部（南部里地探検隊）
- 応援部（自然学校サポーター ※主に高校生と若手社会人）

山の学校：散策会 ー里山の文化を結び付けて学ぼうー

もの作り材料集め、炭焼き窯体験、ブナ林散策会

山の学校：ログハウス建設

子ども達の里山・農村学習の
拠点になっています。

里山散策会から得られた子ども達の
着想を元に、地元おじさんたちが計画

山の学校：炭窯作りの復活

地域の技術の再発見と活用、後継者の創出

川の学校

農の学校

田んぼの学校

農の学校：畑の学校（野菜作りと里山保全活動）

食の教室

地域伝統の食の技術が
新たな産品開発へつながる

もの作り塾

里の素材を生かしたもの作り塾を開催。

角川民話塾

～角川弁で語られる地域の人々の心に残る言い伝えから学ぼう～

里親委員会の取り組み

地元もヨソモンもみんなで里の自然や文化を伝え、暮らしを共有したい

ふるさとの原風景を元気付ける取り組みは地域もヨソモンも協働でかかわりうるもの。
結果として交流人口が拡大しています。

※外部参入者のことを親しみを込めてヨソモンと地元では言います。

学習旅行の受入れ